【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【公開番号】特開2000-200018(P2000-200018A)
【公開日】平成12年7月18日(2000.7.18)
【出願番号】特願平10-377529
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　21/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　11/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｑ　 9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　21/00　３９６
Ｇ０３Ｇ　21/00　５００
Ｈ０４Ｍ　11/00　３０１
Ｈ０４Ｑ　 9/00　３０１Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月28日(2005.12.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　複写機等の画像形成装置と管理装置とを通信コントロール装置を介して接続した遠隔制御装置において、
前記通信コントロール装置の電源が断になったことを検出する検出手段と、補助用の電源とを具備することにより接続された管理装置に通知する通知手段とを、
前記通信コントロール装置に設けたことを特徴とする遠隔制御装置。
【請求項２】　電源が断になった後、設定された時間回復しなかった時に通知する手段を設けたことを特徴とする請求項１記載の遠隔制御装置。
【請求項３】　電源が回復した後に通知する手段を設けたことを特徴とする請求項１記載の遠隔制御装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
上記したような課題を解決するため、本発明に係る遠隔制御装置は、複写機等の画像形成装置と管理装置とを通信コントロール装置を介して接続した遠隔制御装置において、前記通信コントロール装置の電源が断になったことを検出する検出手段と、補助用の電源とを具備することにより接続された管理装置に通知する通知手段とを、前記通信コントロール装置に設けたことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００５５】
【発明の効果】
以上のように、請求項１に記載の発明に係る遠隔制御装置によれば、複写機等の画像形成装置と管理装置とを通信コントロール装置を介して接続した遠隔制御装置において、前記通信コントロール装置の電源が断になったことを検出し、通知することによって、通信コントロール装置の電源が断状態にあったとしても、管理装置からいつでも複写機側のデータを読み出す事ができ、たとえば夜間時のようなユーザー不在時であっても、電源の異常を認識でき、迅速に復旧の為のサービスマン手配やユーザ先への連絡処理が行うことが可能となる。またこのような遠隔制御装置によって、リアルタイムで電源の異常を管理装置等に報知されるため、システム全体の信頼性が向上することになる。